

## 後期重点施策策定に向けて

1. 現行計画に掲げる3つの柱と施策の方向性

- (1) 文化活動への幅広い県民の参加
  - ①鑑賞機会確保、②文化創造への支援、③交流・参加の拡大、④青少年の文化活動の充実
- (2) 質の高い文化の創造と世界への発信
  - ①アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり、②特色ある国際的な事業の展開、③ふるさとの歴史・文化の再発見、④情報通信技術の活用
- (3) 文化と他分野の連携
  - ①観光振興、②まちづくり・地域づくり、③食の磨き上げとブランドイメージの向上、④文化を活かした産業振興

2. 国の動きをふまえたもの（文化芸術推進基本計画（第2期）の策定（R4））

※第21期文化審議会第3回総会資料「文化芸術推進基本計画（第2期）に向けて」より抜粋

- ・ ウィズコロナ時代を見据え、オンライン配信の充実が求められる。  
⇒ICT 利活用
- ・ 中長期的に我が国の文化芸術の担い手を確保  
⇒将来の担い手確保
- ・ 文化観光による文化振興・観光振興・地域活性化の好循環の創出を推進  
⇒文化観光
- ・ 地域における文化芸術振興の中核となる施設づくりを実施する地方公共団体の取組を支援する。  
⇒文化振興の中核となる環境づくり

3. 富山県の動きをふまえたもの(1) 富山県の文化をめぐる環境変化

- ①ウィズコロナ
- ②北陸新幹線敦賀延伸（2024年）
- ③グローバル化（2020東京大会、2025大阪万博を契機とする国際交流推進）

(2) 富山県成長戦略にみる方向性

- ①真の幸せ（ウェルビーイング）戦略
  - ・ウェルビーイングを通じた人材集積により、活力のある地域社会を作る  
⇒交流人口・人材交流の増
- ②まちづくり戦略（官民連携/PPP・PFI）
  - ・ボトムアップな官民連携による富山らしい個性的なまちづくりに取り組む  
⇒官民連携、富山らしい個性的な取組
- ③ブランディング戦略（広報/観光/移住）
  - ・県内の観光サービス業の競争力の強化を促す取組みを推進  
⇒文化観光の推進（観光の高付加価値化）
- ④新産業戦略
  - ・デジタルを含む新しいテクノロジーの活用、リカレント教育へ支援するほか、STEAM教育など公教育全般の強化を図ります。  
⇒ICT等の活用、教育（リカレント教育、STEAM教育）
- ⑤スタートアップ支援戦略（略）
- ⑥県庁オープン化戦略（略）